

ほけんだより10月号

令和8年10月1日
国立ひまわり保育園
看護師 吉田

夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。さわやかに吹く風が秋の深まりを知らせてくれます。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗いや衣類の調節などをして、風邪を予防しましょう。

10月10日は
目の愛護デー



毎年10月10日は「目の愛護デー」とされています。

実は、世界的にも「目の健康を守る日」が設定されています。例えば、世界保健機関（WHO）や国際失明予防機関（IAPB）は、10月の第2木曜日を「世界視力デー（World Sight Day）」と定めています。日本の「目の愛護デー」と近い時期に行われるため、国内外で目の健康を啓発する大きな流れが生まれているのです。

目の愛護デーは、1931年（昭和6年）に日本で制定されました。当時は「視力保存デー」という名前で始まり、国民に視力保護の重要性を呼びかけるために設定されたものです。その後、戦後の混乱期を経て1950年（昭和25年）に改称され、現在の「目の愛護デー」という名称が使われるようになりました。つまり、90年以上の歴史を持つ記念日なのです。

制定当時、昭和初期の日本では、産業の発展とともに近代的な労働環境が整備されつつありました。工場労働や事務作業に従事する人々が増え、視力の低下や眼病が社会問題となっていたのです。また、子どもたちの近視や眼疾患も増加しており、国全体で「視力を守る」取り組みが必要とされていました。そうした時代背景の中で「視力保存デー」として始まり、戦後には「目の愛護デー」として引き継がれたのです。現在では、眼科医会や地域の保健機関が主体となり、視力低下の予防や早期発見の重要性を呼びかけています。



インフルエンザワクチンの効果>>>>>>>>

乳幼児のインフルエンザワクチンの有効性に関しては、概ね20～60%の発病防止効果があったと報告されています。また、乳幼児の重症化や死亡の予防に関する有効性を示唆する報告も散見されます。なお、小児及び若年者のインフルエンザの予防を目的として、経鼻弱毒生ワクチンが2023年に薬事承認されました。経鼻弱毒生ワクチンについては、薬事承認申請時の資料によると、発症予防効果は28.8%とされています。



【9月の感染症】

インフルエンザウィルス感染症	1名
RSウィルス	4名
ヒトメタニューモウィルス感染症	2名
溶連菌感染症	1名
ヘルパンギーナ	10名
とびひ	1名

【10月の予定】

8日（木）	全園児健康診断
13日（火）	0.1歳児 身体測定
14日（水）	2歳児 身体測定
15日（木）	幼児 身体測定